

荒尾市公共施設マネジメント計画及び公共施設個別施設計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

1. 実施期間 令和3年2月12日（金曜）から令和3年3月11日（木曜）まで
 2. 意見提出件数 2件

※提出いただいたご意見につきましては、とりまとめの便宜上、適宜要約させていただきます。

番号	該当箇所	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	全体	<p>建物ごとに老朽具合を割り出して、「使用しつづけるか、補修必要性の大小」などを査定。緻密かつ分かりやすい。</p> <p>築50年を超える建物でも、使用頻度によっては、建て替えではなく、補修に留めないといけないという市の慮りも伺える。</p> <p>市の機能を宮内と緑ヶ丘に集中させる案も賛成。今の図書館が古すぎて遠いので。</p>	<p>今後も行政サービスの確保と健全な財政運営の両立のため、中長期的な視点に立った立場で施設管理の実現を図っていきます。</p>
2	P12(マネジメント計画)	<p>潮湯の劣化状況は、Ⅱの評価項目が多いが、総合的に見るとⅢに近い状態にあり、早急な改修時期にさしかかっている。海水貯留タンクは外見上さびだらけで、旧耐震基準のため、大地震があれば倒壊の危険性があるのではないかと。建物も同様に旧耐震基準であるため、非常に不安である。</p> <p>またボイラーは44年以上前に製造されたものと推測され、燃焼熱効率は低下しCO²の発生も増加しており、国や市が掲げるSDGs脱炭素化社会（CO²削減）の目標にも反している。その他機器も含めて、維持修繕費用の増大につながっている。浴槽や洗面所も時代遅れである。またアクセスも悪く、便利な立地条件ではない。</p> <p>潮湯にはタラソテラピー効果（海洋療法）が得られ健康増進効果もあり、「暖まりの湯」とも言われる。健康増進によって、結果的には医療費削減にも寄与できる。なお、南新地での温泉は泉質が優れず、タラソテラピー効果は全くない。</p>	<p>潮湯につきましては、ご指摘のとおり、旧耐震基準の建物となっており、老朽化も進んでいる状況ですが、P21（保健福祉系施設個別施設計画）に記載しており、必要な修繕を行っていくことで、継続して運営は可能であると判断しているところです。</p> <p>また、ボイラーにつきましても令和2年度に修繕を行っており、適宜必要な対策を行っていきます。</p> <p>潮湯は、ご意見のとおり、健康増進効果も期待でき、地域住民の皆様の交流の場としても活用されていることから、今後もできるだけ長くご利用いただけるよう努めていきます。</p> <p>なお、南新地地区につきましては、「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」に基づき、現在道の駅や保健・福祉・子育て支援施設の整備検討等を進めており、ご意見を参考にさせていただきます。</p>

		<p>潮湯は経年劣化が激しくなっており、維持管理費が増大し、施設の陳腐化により、建替えの時期が急迫してきている。</p> <p>健康増進や維持管理の観点、アクセスの利便性、来客数の増加、将来にわたる市財政の健全化から潮湯を南新地に移設新築することが最適解と言える。潮湯はシンボルタワーの最上階に設置し、眺望を満喫できるようにする。なお、現在1日100名前後の利用者を、一般開放することによって収益性を大幅に向上させる荒尾のシンボルとする。なお、高齢利用者には現状程度の利用料として、継続利用とする。</p>	
--	--	---	--